

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市支援センターなごやか		
課名	精神保健福祉課		
指定管理者名	医療法人社団リラ		
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和6年5月21日(火)		
評価委員 ※()内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 松田 毅 (精神保健福祉課長) ②委員 寺田 和弘 (障害福祉企画課長) ③ " 大久保 聡子 (こころの健康センター所長) ④ " 大石 信弘 (静岡市葵区麻機地区民生委員児童委 員協議会会長) ⑤ " 松永 多佳夫 (城東町自治会長)		
評価点 (各委員平均点)	76.8点	評価	A・B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>評価委員会からもB評価をいただいております施設管理及び業務は適切に運営できていると考えています。</p> <p>地域活動支援センターの延べ利用者数が減少傾向にあるが、一般相談支援事業の延べ相談件数は増加傾向である。相談件数の増加については、精神疾患やメンタルヘルズ課題を抱えた市民への対応のニーズが増加していることなどが要因としてあげられる。その一方、就労系の障害福祉サービス等の増加もあり、地域活動支援センターの利用者の減少につながっていることも要因の一つとして考えられるが、適切な社会資源やサービスの利用等に繋げていくためにケースワーク機能はますます必要性が高まっている。</p> <p>そのほか、コロナ禍の影響により地域との交流の機会が減っていたことから、コロナ前に行っていた地域との交流イベントの再開も検討していく必要がある。</p> <p>また、当該施設のニーズに変化が見受けられることから、これらも踏まえた上で、次期指定管理者の選定に反映できるよう努めたい。</p>		

総合評価結果総括表

施設 の 名 称 [静岡市支援センターなごやか]

課名 [精神保健福祉課]

指定管理者名 [医療法人社団リラ]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認	【配点50点】					
(1) 事業の円滑な実施						
(ア) 事業計画書等に示された事業が予定どおり、円滑に実施された。	7	7	4	8	8	6.8
(イ) 地域活動支援センター事業について、延べ利用者数の目標を達成した。	2	3	3	3	4	3
(ウ) 一般相談支援事業について、延べ相談件数の目標を達成した	5	4	3	5	5	4.4
(エ) 運営委員会を設置、開催し、運営委員会の評価及び意見を施設の運営に反映させた	4	3	3	3	5	3.6
(2) 適正な人員配置						
(ア) 適正な能力を持った職員が適正な人数配置された。	4	4	3	5	5	4.2
(イ) 労働時間や労働賃金、雇用形態など、労働関係法令を遵守し、適正な管理を行った。	4	4	3	5	5	4.2
(3) その他						
(ア) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適正に実施された。	4	4	4	5	5	4.4
(イ) 利用者の個人情報などを適正に管理した。	4	4	4	5	5	4.4
(ウ) 災害時等の対応マニュアルを作成し、利用者を含めた定期的な防災訓練が行われた。	4	4	3	5	4	4
小 計	38	37	30	44	46	39
2 指定管理者の創意工夫	【配点15点】					
(ア) 指定管理者からの提案による指定管理者の技術・経験を活かした事業が実施された。	4	3	3	4	5	3.8
(イ) 事業の質の向上に向けた取り組みが積極的に行われた。	4	2	3	4	4	3.4
(ウ) 様々なプログラムを企画、実施し、より多くの利用者が参加できるよう努めた。	4	4	3	3	4	3.6
小 計	12	9	9	11	13	10.8

3 市民（利用者）のサービスの向上		【配点15点】				
(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けた。	4	4	2	4	4	3.6
(イ) 利用者の意見、要望及び苦情等を受け付け、速やかに対応する体制を整備した。	4	4	3	4	4	3.8
(ウ) 市民や利用者に向けた情報提供等が積極的に実施された。	4	4	2	3	4	3.4
小 計	12	12	7	11	12	10.8
4 施設固有の評価項目		【配点20点】				
(ア) 利用者の状況を適切に把握し、利用者が地域において自立した日常生活または社会生活を営むことが出来るよう個々の目標に応じた適切な支援を行った。	4	4	3	4	5	4
(イ) 関係機関が実施するケース会議に参加するなど、関係機関と連携した支援を行った。	4	4	3	4	5	4
(ウ) ピアカウンセリングを実施し、精神障がい者の障害特性に寄り添ったきめ細かなサポートを行った。	5	4	3	4	4	4
(エ) 利用者と良好な関係を築き、利用者が安心して利用・相談できる環境づくりを行った。	4	4	3	4	4	3.8
小 計	17	16	12	16	18	15.8
合 計	79	74	58	82	91	76.8

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】
<ul style="list-style-type: none">・意見箱の設置、サミットでの利用者の意見反映、よい取り組みであると評価したい。・職員のスキルアップを継続して図っていただきたい。・コロナ禍で途絶えた地域とのつながりを意識していただきたい。（防災の日の協力等）
【B評価委員】
<ul style="list-style-type: none">・今後の予定（重層的支援体制整備のなかでの位置づけ）についての考えが反映されているか分かりづらかった部分がありました。・相談対応について、他機関との連携体制が確認できなかったので2点にさせていただきました。
【C評価委員】
特になし。
【D評価委員】
<ul style="list-style-type: none">・一般相談支援事業については目標を超えてるが、地域活動支援センター事業は目標を下回っている。コロナの影響とは言え、目標を下回ったことへの対応が十分とは言えない。・プログラム企画は幅広く行われているが、多くの利用者が参加するための手立てが見えてこない。・SNSの活用が必要ではないか。・職員研修が必要と考えます。
【E評価委員】
特になし。

評価委員会としての意見

件数や、満足度調査のみではなかなか評価がしづらい部分がある。質量ともかなりの活動を行っているにもかかわらず、その様子が見えてきづらい。

利用者満足度調査では、平均で80%超えたから「良好」というのではなく、各年度の数字をみて、精査し改善していく取組・計画が必要。相談件数も3,000件を超えているため、相談支援機関としての客観的評価もあるといい。

なごやかのパンフレットはあるが、SNSを有効活用して宣伝していくことも考えていただきたい。

城東町の地域防災訓練も保健所で行っているため参加されてみてはどうか。